

「税に関する作文」表彰式

税を考える週間（11月11日～11月17日）の行事の一環として、中学生と高校生を対象に募集した税に関する作文の入賞者が決まり、11月28日に市役所市民ホールで表彰式が行われました。今回は、平戸税務署管内から1、508名の応募があり、本市からは11点が入賞しました。

入賞者は次の通りです（敬称略）。

〔中学の部〕

○松浦市租税教育推進協議会会長賞

・室屋結花利（調川中3年）「納税者の一員として」

○平戸税務署管内納税貯蓄組合連合会会長賞

・氏山寛奈子（御厨中2年）「とても身近な税金」

・小田原亜友美（今福中3年）「税金について」

・徳田真子（福島中3年）「税は私たちを支える」

・前田愛理（志佐中3年）「ビールと税」

・青木麻衣（鷹島中2年）「私たちと税」

〔高校の部〕

○松浦市租税教育推進協議会会長賞

・吉元真奈美（松浦高校1年）

「暮らしに身近な税」

○松浦市租税教育推進協議会優秀賞

・岩佐智美（松浦東高校1年）

「税について私が思うこと」

・末竹幸（松浦高校2年）

「税について思うこと」

「税について」

「税について」

○平戸税務署長賞

・久恒麻衣（松浦高校2年）

「税について」

・白石麻美（松浦高校3年）

「税の役割」



松浦高校Aが優勝 —北松縦断駅伝競走大会—

第43回北松縦断駅伝競走大会が11月26日、きらきら21前をスタート、佐々町役場前ゴールの7区間41.3^{キロ}のコースで行われました。

大会には、松浦・平戸・北松地域などから15チームが出場し、一般・高校・フリーの3部門で順位を競いました。高校の部に出場した松浦高校Aが優勝しました。

本市関係の結果は次の通りです（敬称略）。

【一般】②松浦市陸協東（2時間32分39秒）

〈区間賞〉

3区（5.5^{キロ}）＝桑田 武（松浦市陸協東、19分35秒）

【高校】①松浦高校A（2時間14分35秒）

③松浦高校B（2時間20分0秒）

〈区間賞〉（全て松浦高校）

1区（6.4^{キロ}）＝福本直樹（21分5秒）、2区（5^{キロ}）＝大山賞之（16分36秒）、4区（5.6^{キロ}）＝遠山岩樹（19分1秒）、5区（5.3^{キロ}）＝山田千鉄（16分52秒）、6区（6.6^{キロ}）＝白石勝美（21分40秒）、7区（6.9^{キロ}）＝吉田明広（21分24秒）



小中学生が夢や希望を発表 —福島地区 少年の主張大会—

福島地区少年の主張大会（福島地区青少年健全育成会主催）が12月1日、福島小学校で開かれました。

意見発表を通して、青少年の意識に対する市民の理解を深めてもらい、子どもたちの健全育成を図ることを目的に毎年開催されています。

この日は小学生4人、中学生6人が日ごろ感じていることや考えていることを発表しました。

小学生の部では太田千晶^{ちあき}さん（福島小6年、写真）が、中学生の部では徳田真子^{まこ}さん（福島中3年）が最優秀賞に選ばれました。

太田さんは「勇気を出して」というテーマで、人前にでることができなかった自分自身の3つの取り組みを発表。

徳田さんは「思い出の金魚草」というテーマで、祖父母と育てた金魚草を思い出に、笑顔を忘れずに精いっぱい生きていきたいと発表しました。

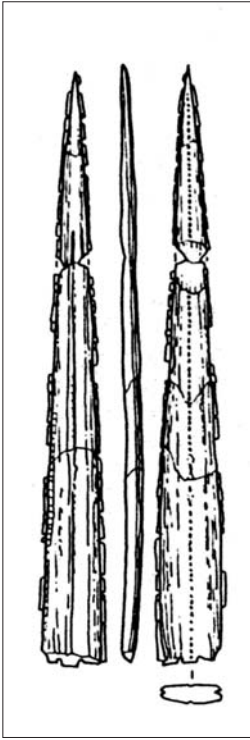


旧石器時代の終わり

当時の遺跡は、狩りや木の木の採集に便利な台地や丘陵地が選ばれています。松浦市周辺は、特にこの時代の遺跡が多い所です。剥片尖頭器や角錐状石器が使われていた頃は色々な種類の石器がありました。旧石器時代の終わり頃になるとその種類も少なくなりナイフ形石器や台形石器は形が小さくなってきました。こんな中で細石刃という新しい道具も作られています。これらの石器は、小さく単独での使用では無理なため、動物の骨や、手ごろな木に溝を彫って複数の石器と一緒に固定して槍として使用していたと考えられています。これを組み合わせ道具と呼んでおり、欠けた石器だけ交換ができる大変便利なものでした。

なお、細石刃は黒曜石の原石から薄くはがして作りますが、縄文時代に入って土器の登場とともに次第に消えていきます。松浦地方では、土器の出現とともにその製作技術が変化することも明らかにされています。

市内での細石刃が出土する遺跡は、福島町白山遺跡・横田遺跡、鷹島町長畑遺跡、志佐町辻ノ尾遺跡、御厨町寺ノ尾C遺跡などがあります。



▶細石刃を着装した槍先

伊万里・北松地域広域市町村圏組合発行の「海と交流わたしたちのふるさと」より

ブリティーナ先生 (アメリカ出身)

Happy New Year! ハッピー ニュー イヤー!

私は新しい年の始まりが大好きです。皆さんもそうですね。私は、昨年日本に来ることができた自分を大変誇りに思っています。そして日本で新年を迎えることができ本当にうれしくてたまりません。

日本のお正月は家族とともに、前年を振り返ったり、くつろいだり、テレビをみたり、伝統的なおせち料理を食べたり、年賀状を送ったり、神社やお寺を参拝したりしますね。

アメリカでは、多くの人が大晦日を祝い、新年の決意 (New Year's Resolutions) をします。新年の決意は1年を通して自分が努力する実際的な目標です。私の新年の決意は、自分の平常心を向上させ、それを維持することです。東洋にいることは、自分自身の平常心を保つことに役に立ちます。私はさらに注意深い忍耐と自己満足を得る方法を学びたいと思います。皆さんも新年にむけて目標を掲げ、その達成にむけて努力をしてみませんか。

でも、まずはくつろいで、大きな喜びをもって新年を迎えてください。



▶雑煮を食べました。